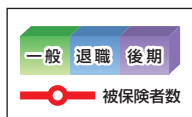
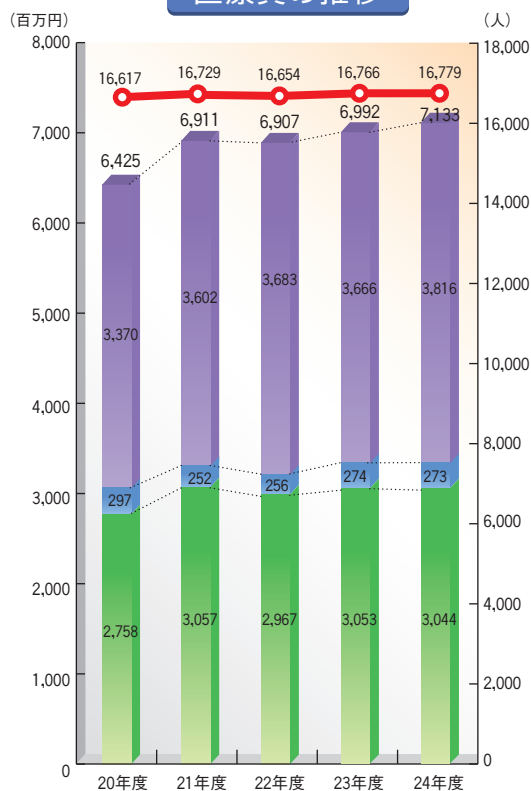


さくら市

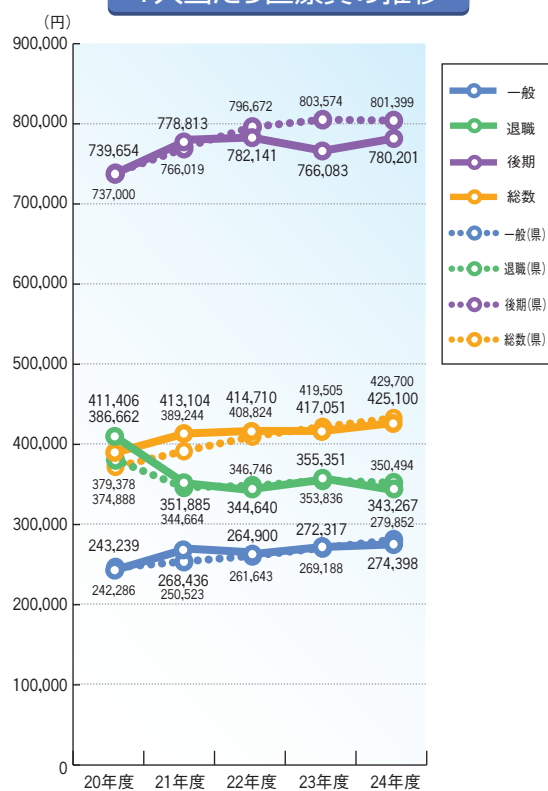
さくら市



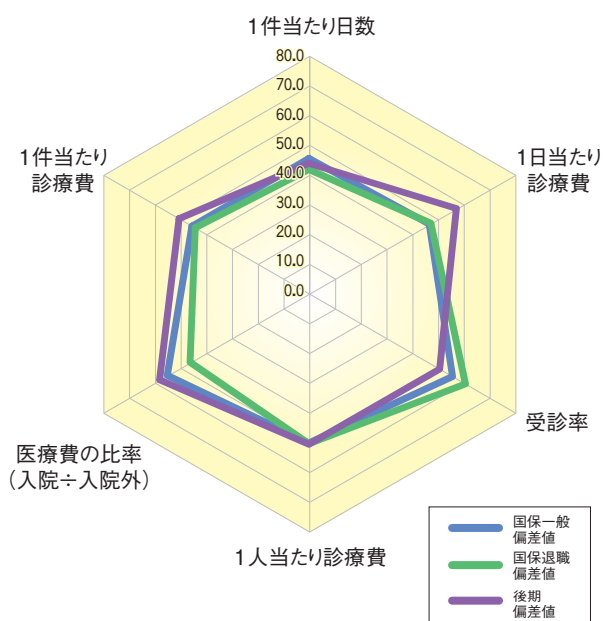
医療費の推移



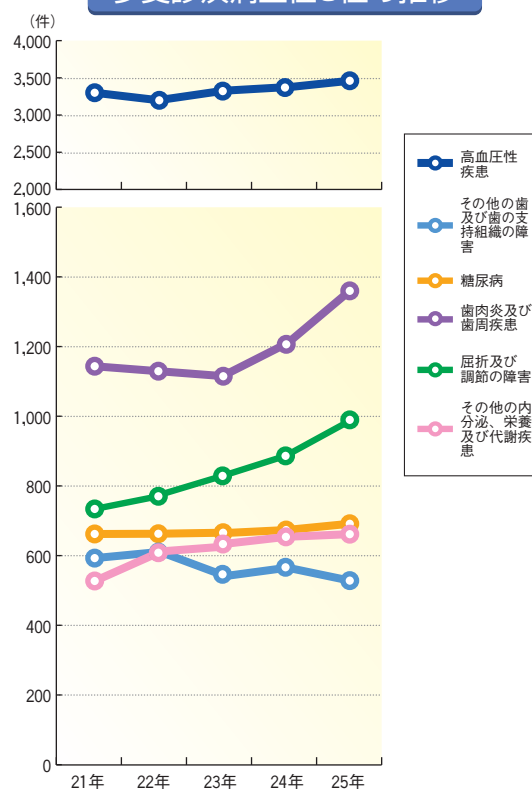
1人当たり医療費の推移



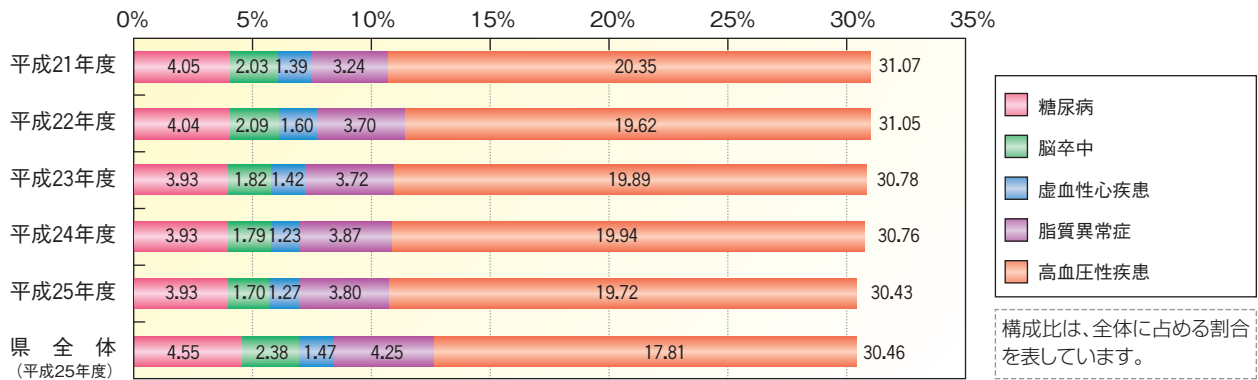
平成24年度
3要素と医療費諸費(県平均との比較)



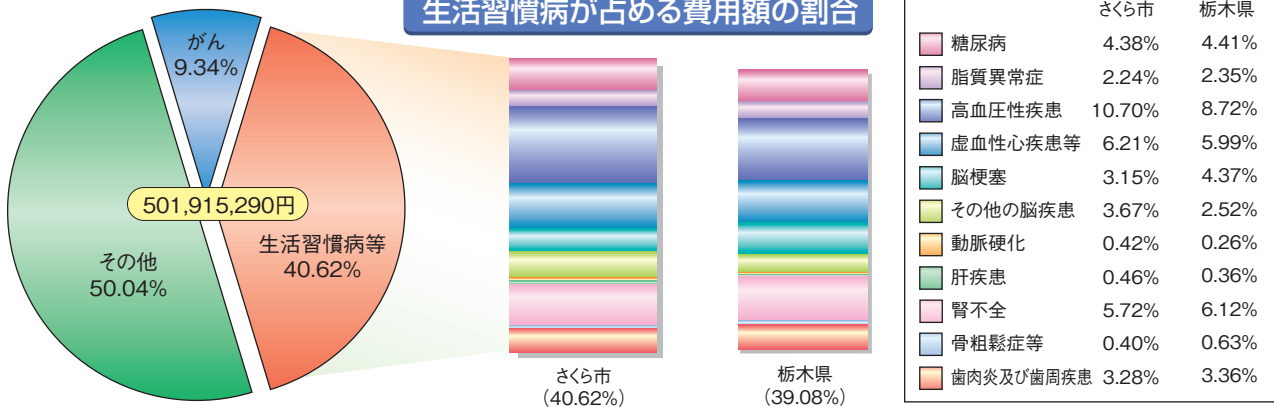
多受診疾病上位6位の推移



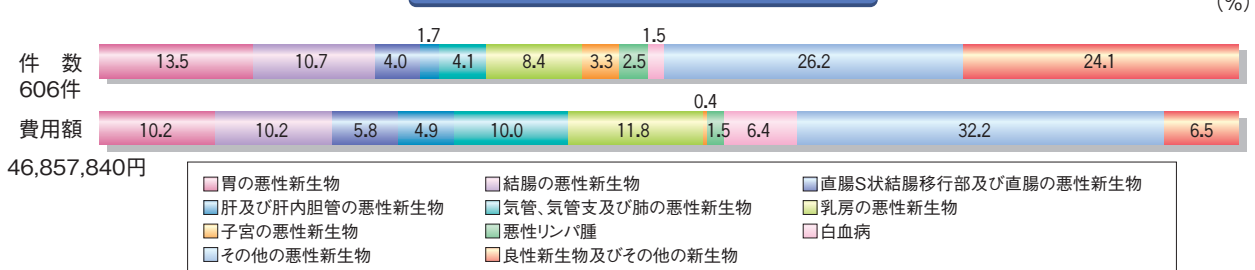
生活習慣病5年間の件数の推移(構成比)



生活習慣病が占める費用額の割合



がんの件数・費用額割合(部位別)



さくら市の状況

★医療費の状況及び被保険者数

平成24年度の医療費(療養諸費)の推移をみると、一般3,043,898千円(99.7%)、退職272,898千円(99.7%)、後期3,815,961千円(104.1%)で、全体では7,132,756千円(102.0%)と増加している。()は前年度との比較。

平成24年度平均被保険者数は16,779人で、内訳は一般11,093人、退職795人、後期4,891人である。前年度と比較すると全体で100.1%とほぼ変化はない。

また、平成24年度の1人当たり医療費の推移をみると、総数は425,100円(8,049円増)、一般は274,398円(2,081円増)、退職は343,267円(12,084円減)、後期は780,201円(14,118円増)である。()は前年度との比較。

3要素(受診率、1件当たり日数、1日当たり診療費)と医療諸費の県平均との比較をみると、いずれの法別も1件当たり日数は県平均を下回り、受診率は県平均を上回る高い偏差値となっている。

★疾病の状況

平成25年5月診療分で件数が多い(多受診)疾病は、1位高血圧性疾患、2位歯肉炎及び歯周疾患、3位屈折及び調節の障害、4位糖尿病、5位その他の内分泌、栄養及び代謝疾患、6位その他の歯及び歯の支持組織の障害で、中でも3位の屈折及び調節の障害は年々増加傾向にあり、平成21年と比べ件数で1.3倍、費用額で1.7倍となっている。

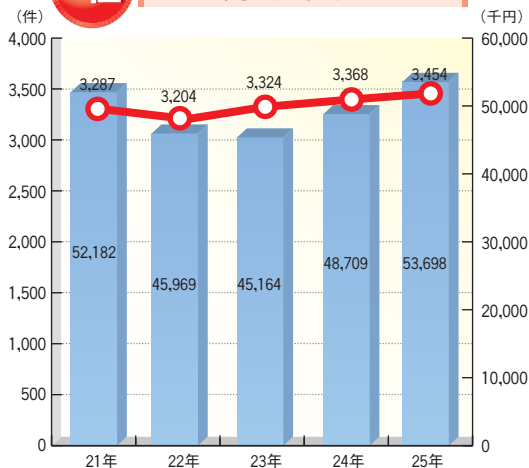
また、5大生活習慣病(糖尿病・脳卒中・虚血性心疾患・脂質異常症・高血圧性疾患)の件数の推移(構成比)をみると、県全体と比べ高血圧性疾患以外の疾病の構成比は低くなっている。

生活習慣病が占める費用額の割合では、平成25年5月診療分の総費用額が501,915,290円で、がんが9.34%、生活習慣病関連が40.62%を占めている(県全体 がん11.56%、生活習慣病関連39.08%)。費用額の占める割合が高い疾病は、高血圧性疾患10.7%、脳梗塞6.21%、腎不全5.72%となっている。

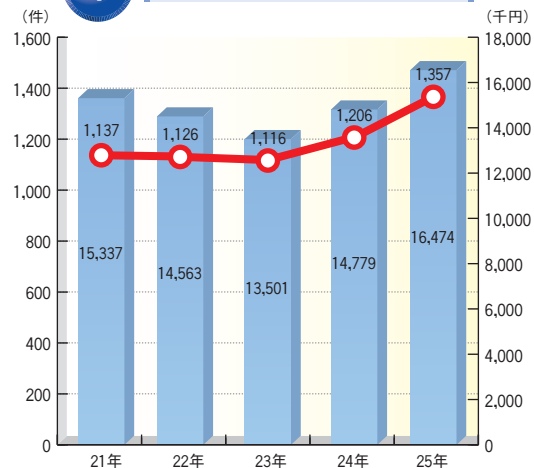
がんの部位別の件数及び費用額の割合は、その他の悪性新生物、良性新生物及びその他の新生物に分類されるものを除き、件数では、胃の悪性新生物、費用額では、乳房の悪性新生物が高い割合となっている。

多受診疾病 上位6 の年次推移

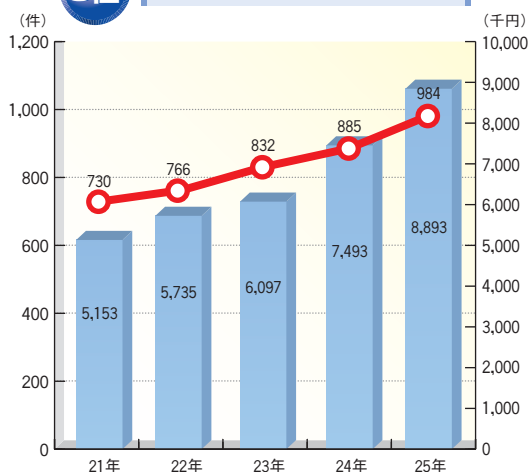
1位 高血圧性疾患



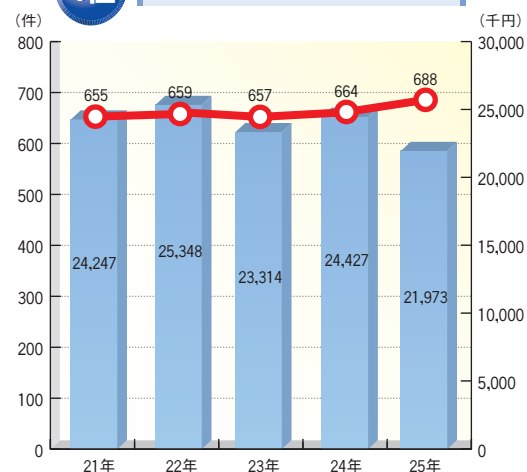
2位 歯肉炎及び歯周疾患



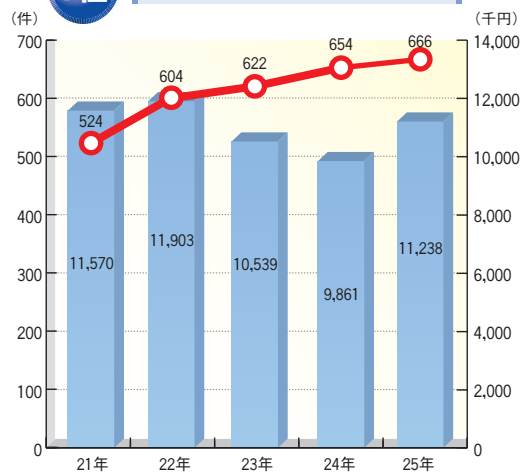
3位 屈折及び調節の障害



4位 糖尿病



5位 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患



6位 その他の歯及び歯の支持組織の障害

